

(1) グリーンモードに合わせます

このモードは、最も簡単な露出モードで、カメラが自動的に露出合わせをしますので、シャッターボタンを押すだけで簡単に撮影が楽しめます。

* 他の露出モードについては39、52、53ページをご覧ください。

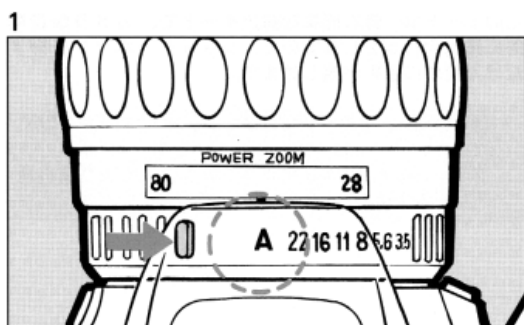
* グリーンモードでは、プログラムシフトおよび露出補正は働きません。

基本的な使い方

Ⅱ 基本的な使い方

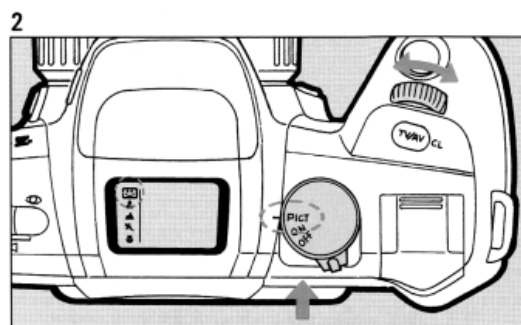
[撮影]

25



1. 図のように、レンズの絞りをA位置に合わせます。

* レンズの絞りをA位置に合わせる場合は、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。なお、A位置から外す場合にも、絞りオートロックボタンを押しながら回してください。



2. 電源スイッチを「PICT」に合わせ、モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して、表示パネルの「」に「」を合わせます。

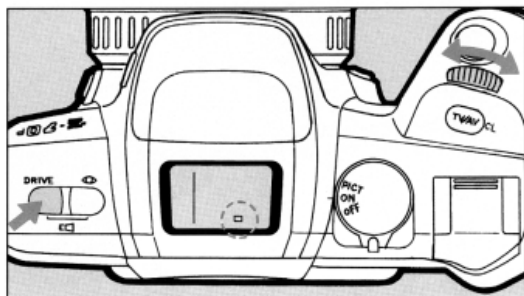
基本的な使い方

26

(2) 撮影方式について

撮影方式には次の3種類があります。

- = 1コマ撮影
シャッターボタンを押すと、1回だけ撮影されます。最も一般的な撮影方式です。
- 📷 = 連続撮影
シャッターボタンを押し続けると、連続的に撮影ができます。68ページをご覧ください。
- ⏱ = セルフタイマー撮影
シャッターボタンを押してから、約12秒後にシャッターが切れます。68ページをご覧ください。



基本的な使い方

撮影方式の変更方法

ドライブボタンを押したまま、セレクトダイヤルを回して、左の3つの内のいずれかを表示させます。

* ここでは、一般的な1コマ撮影 □ に合わせておいてください。

27

(3) ズームレンズの使い方



望遠側



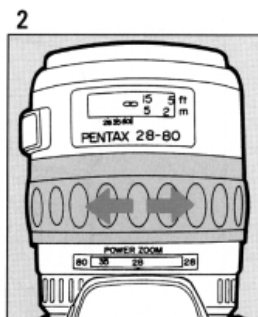
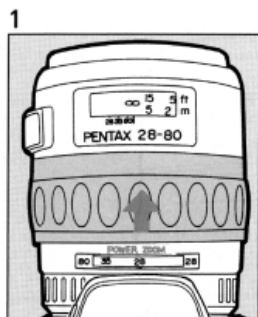
広角側

ズームレンズを使えば写したい物を大きくしたり、小さくしたり自由に変えることができます。好みの大きさに合わせて撮影してください。

- * レンズの焦点距離表示の数字が小さいときは写る範囲が広い広角[ワイド]側、大きいときは遠いものを大きく写す望遠[テレ]側になります。
- * このカメラにペンタックスFAズームレンズを組み合わせると、パワーズーム[電動ズーム]として使用できます。
- * FAズームレンズ以外のズームレンズでは、マニュアルズーム[手動ズーム]としてご使用ください。
- * このカメラにペンタックスFAズームレンズを組み合わせても、イメージサイズ指定、ズームクリップ、露光間ズームは使用できません。

基本的な使い方

28

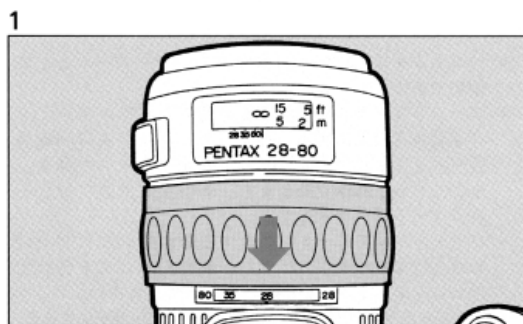


パワーズーム[電動ズーム]で使用するには

1. ズームリングを前側に押し出すようにして、図のように「POWER ZOOM」の文字が見えるようにします。
2. ズームリングを右に回すと望遠[テレ]側へ、左に回すと広角[ワイド]側に動き、手を離すと止まります。

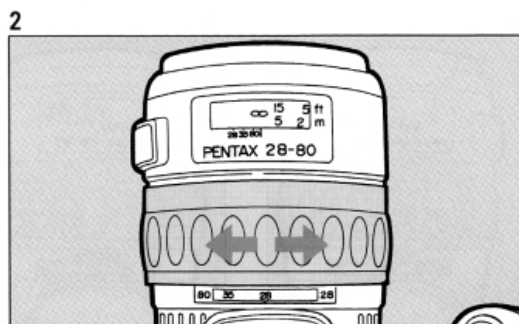
- * ペンタックスFAズームレンズのみパワーズームとして使用できます。
- * ズームリングは、回転させる角度によって、ズームリング速度が3段階に変化します。ズームリングの回転角度を大きくする[当て付ける]と高速でズームが動き、小さくすると低速で動きます。その中間位置では、中速でズームができます。
- * パワーズームでズームिंगをすると自動的にピント合わせも行なわれます。ただし、最終的なピント合わせはシャッターボタンの半押しで行ってください。
- * FAズームレンズ使用時に電源スイッチをOFFにすると、自動的にレンズの長さが最短になります。

29



手動でズームするには

1. ズームリングを手前に引いて、「POWER ZOOM」の文字が隠れるようにします。



2. ズームリングを右に回すと望遠[テレ]へ、左に回すと広角[ワイド]になります。

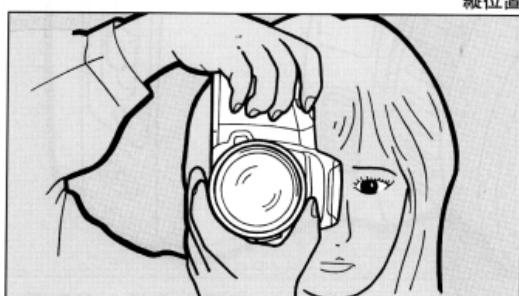
30

(4) カメラの構え方

横位置



縦位置



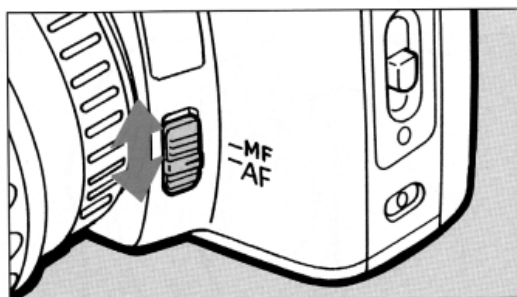
撮影するときは、カメラの構え方が大切です。

- 図のようにカメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンは指の腹で静かに押します。
[強く押すとカメラが動いてしまい、きれいな写真が撮れません。]

- * 木や建物・テーブルなどを利用して、体やカメラを安定させると効果があります。
- * 個人差はありますが、一般的には焦点距離の逆数が手持ちの限界シャッター速度とされています。例えば、焦点距離が 50mm では 1/50 秒、100mm では 1/100 秒などです。これ以下のシャッター速度になる場合には、なるべく三脚を使用してください。
また、別売りの「ケーブルスイッチF」の利用をお勧めします。
- * 望遠レンズで三脚を使用するときは、カメラやレンズの総重量より重い三脚を使うとカメラぶれ防止に効果があります。

31

(5) ピントの合わせ方を選びます



フォーカスモードレバーについて

- **AF** = オートフォーカス
シャッターボタンを半押しするとレンズが自動的に動いて、ピントを自動的に合わせます。[オートフォーカス]
最も一般的なモードです。ピントが合っていないとシャッターは切れません。
- **MF** = マニュアルフォーカス
手動でピントを合わせるときに使用します。オートフォーカスの苦手な物などのときに使います。オートフォーカスの苦手な物については、46 ページをご覧ください。

フォーカスモードレバーで好みのモードを選んでください。

- * このカメラには右記のように 2 通りのピント合わせの方法があります。
- * オートフォーカスで使うには、フォーカスモードレバーを AF に合わせます。

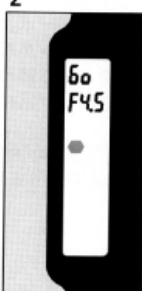
32

(6) オートフォーカスでピントを合わせて撮影します

1



2



フォーカスモードレバーを **AF** に合わせます。

1. 写真のように、AFフレーム **[]** を写したいものに合わせシャッターボタンを半押しすると自動的にピント合わせが行なわれます。
2. ピントが合うと、図のようにファインダー内の **[]** が光って、「ピピッ」と電子音が鳴ります。

パノラマシグナル **[]** について

標準撮影のときは、パノラマシグナル **[]** が消えていることを確認してください。

- * シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と表示パネルにシャッター速度と絞り値が表示されます。
- * ストロボお勧め表示が出た場合には、内蔵ストロボをお使いください。内蔵ストロボについては、36 ページをご覧ください。
- * 電子音は消すことができます。70 ページをご覧ください。
- * オートフォーカス作動中は、レンズの距離リングに手をかけたり回転を妨げたりしないでください。

[] が点滅を続けるときは、以下の理由でピント合わせができないときです。

- ① 撮影距離が近すぎる
もう少し離れて撮影してください。
- ② オートフォーカスの苦手な物の場合。46 ページをご覧ください。

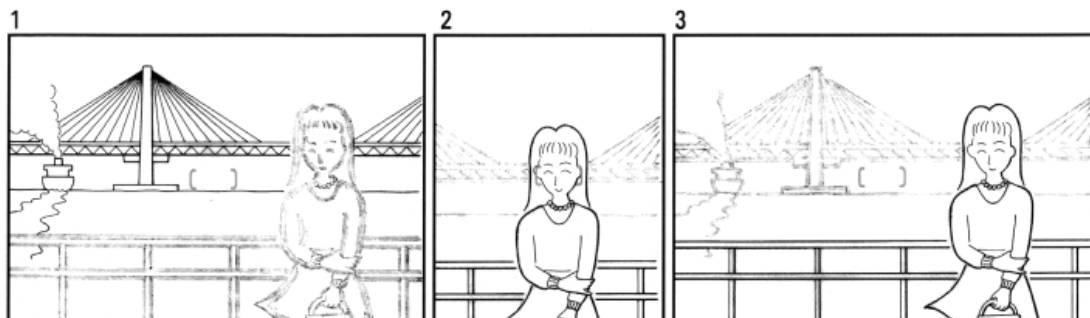
3. さらにシャッターボタンを押し切ると撮影できます。

- * シャッターを切ると自動的にフィルムが巻かれ、表示パネルの枚数表示が1つ進みます。
- * ピントが合うまでシャッターは切れません。
- * シャッターボタンを半押しして、**[]** が光っている間は、ピントがその位置で固定[フォーカスロック]されています。
- * 一度ファインダー内の **[]** が点灯してから、別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンから指を離して押し直してください。
- * フォーカスモードレバーが **AF** で、撮影方式が連続撮影 **[]** のときはシャッターが1回切れる毎にその都度ピント合わせを行ないます。
- * SMCペンタックスFソフト 85mmF2.8 レンズを使用するときは、絞りをF2.8～F4.5で撮影してください。詳しくは48 ページをご覧ください。
- * 構図上、AFフレーム **[]** がピントを合わせたいものから外れる場合は、「フォーカスロック撮影」をしてください。フォーカスロックについては、35 ページをご覧ください。

動体予測

シャッターボタン半押しでピント合わせをしているときに、カメラが写す物を動体と判断すると、自動的に動体予測に切り替わります。この場合には、レンズが連続的に駆動し、常に写す物にピントを合わせ続けます。

- * 写す物が速すぎるときには、シャッターが切れないことがあります。



フォーカスロック撮影について
なぜフォーカスロックが必要なのか

オートフォーカスのピント合わせは画面中央のAFフレーム〔 〕で行なわれますから、ピントを合わせたものがAFフレームから外れていると写したい物にピントが合いません。

フォーカスロックの方法

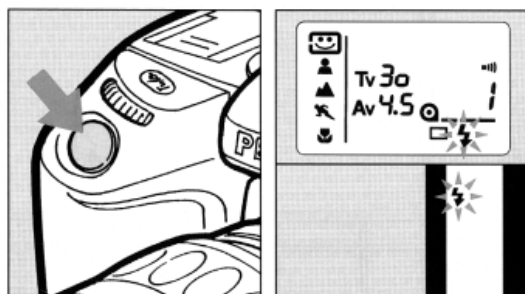
1. AFフレーム〔 〕が外れたままで撮影すると、図のように後ろにピントが合ってしまう。

2. ピントを合わせたいものにAFフレーム〔 〕を合わせ、シャッターボタンを半押し状態にして、○を点灯させたままにしておきます。〔ピントを記憶させる操作です。〕
3. シャッターボタンを半押しのまま、元の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し切って撮影します。

- * シャッターボタンから指を離して、ファインダー内の○が消えると、フォーカスロックは解除されます。
- * 別の場所にフォーカスロックをするときは、一度シャッターボタンから指を離して、やり直してください。

35

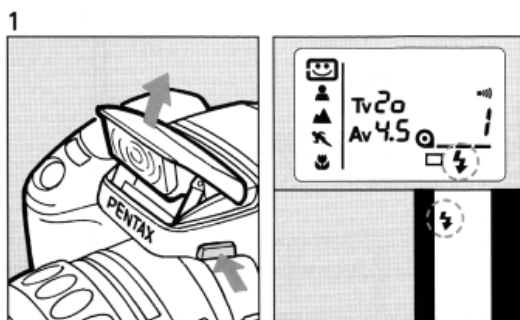
(7) 内蔵ストロボの基本的な使い方



ストロボお勤めマークについて

このカメラでは、ストロボが必要なときに、シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内と表示パネルの 点滅をして知らせます。

- * 点滅は、露出モードがプログラム・ピクチャーモード〔グリーンモードを含む〕・絞り優先自動露出では、写したいものが暗い場合と逆光のときに、シャッター優先自動露出・マニュアル露出では逆光時のみ表示されます。

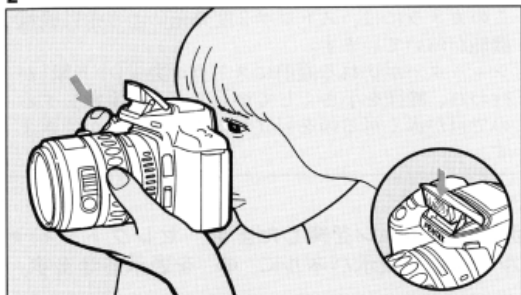


内蔵ストロボを使います。

1. 図のように、ストロボスイッチを押して、ストロボを上に出します。

- * 充電が自動的に始まり、充電が終わると、表示パネルに が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、ファインダー内にも が表示されます。
- * ストロボ充電中はシャッターは切れません。
- * シャッターボタンを半押しすると、表示パネルとファインダー内にシャッター速度と絞りが表示されます。
- * ストロボを連続して使うと、電池が多少温くなる場合がありますが、異常ではありません。

36



2. シャッターボタンを押してストロボ撮影をします。撮影後、内蔵ストロボは矢印部分を押して収納してください。

ストロボで撮影できる範囲の目安

[ISO100のとき、カッコ内はISO400のとき]

ストロボ撮影できる距離は、表のように、ご使用になるレンズの開放絞り値により変化しますのでご注意ください。

使用レンズの開放絞り値	撮影距離範囲
F1.4	約0.9~4.6m [6.5m]
F2	約0.8~3.7m [5.8m]
F2.8	約0.7~3.3m [4.6m]
F3.5、F4.7	約0.7~2.9m [4.6m]
F5.6	約0.7~2.3m [4.6m]

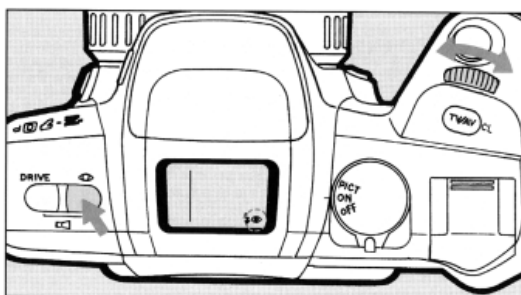
開放絞り値は、レンズに「1:1.4」のように表示されています。[F1.4の場合]

- * この撮影距離範囲は、露出モードがピクチャーモード [グリーンモードを含む]、およびプログラム自動露出の場合です。これ以外の露出モードの撮影距離については72ページをご覧ください。
- * ストロボで撮影できる最短距離は、レンズの開放絞り値がF2.8およびそれより暗いレンズを使用しても、常に0.7mとなります。0.7mより近距離で撮影すると露出が正しく制御されません。また、ケラレなどが発生しますのでご注意ください。

レンズが不適切な場合の警告表示

ストロボ撮影に不適切なF・FAレンズを使用すると、充電が完了してからシャッターボタンを半押しすると表示パネルの [] やファインダー内の [] が点滅して警告します。内蔵ストロボが使えるレンズと使えないレンズについては、73ページをご覧ください。

- * 警告が出た状態で撮影すると、画面の四隅が暗くなるケラレが出たり、画面下部に半円形のケラレが出たりしますのでご注意ください。
- * F・FAレンズ以外を使用した場合は警告表示がされませんからご注意ください。
- * レンズフードは、ストロボの光を遮ることがありますので使わないでください。



赤目軽減機能について

赤目現象とは

一般に「赤目現象」といわれ、暗い中で人物のストロボ撮影を行なったときに、目が赤く写る現象です。これは、ストロボの光が目網膜に反射するために起こる現象と言われています。赤目を完全に防ぐことはできませんが、できるだけ周りを明るくして撮影するか、ズームレンズを使用している場合には広角側にして近距離で撮影するなどの方法を利用すると軽減することができます。外付けのストロボをご使用のときは、ストロボをできるだけカメラから離すと効果があります。

このカメラには、ストロボ2度発光による赤目軽減機能が付いています。

シャッターが切れる直前にストロボ発光[小光量]が行われ、瞳径を小さくしてからストロボ撮影をするので目が赤く写るのを目立たなくすることができます。

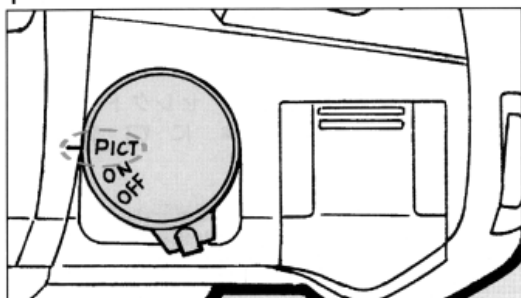
セット方法

赤目軽減ボタンを押したまま、セレクトダイヤルを回して表示パネルに [] を表示させます。

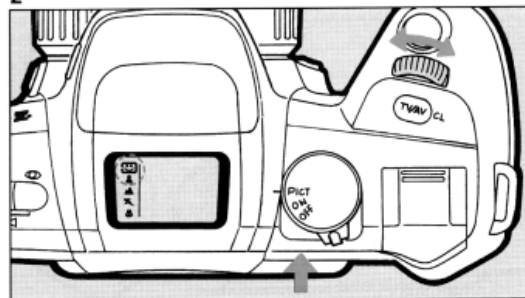
- * 赤目軽減ボタンを押すと、表示パネル [] が表示されます。
- * 赤目軽減機能とAF500FTZなどのストロボのスレープ機能を組み合わせて撮影すると、1度目のプリ発光で外付けストロボが発光してしまいますので、スレープ使用時は赤目軽減機能は使わないでください。
- * 外付けストロボのみを使用しているときは、表示パネルに [] が表示されていてもストロボ2度発光による赤目軽減機能は働きます。
- * 赤目軽減機能の解除は、赤目軽減ボタンを押したままセレクトダイヤルを回して表示パネルの [] 表示を消してください。

(8) ピクチャーモードを使いましょう

1



2



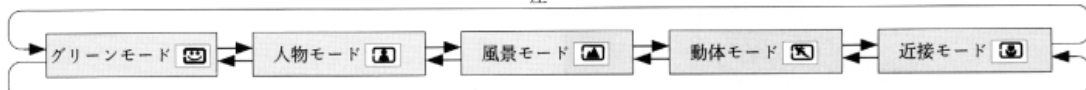
設定方法

レンズの絞りをA位置にします

1. 電源スイッチを **PICT** にします。
2. モードボタンを押しながらセレクトダイヤルを回して表示パネルの希望のモードに  を合わせます。

* ピクチャーモードではプログラムシフトは使用できません。

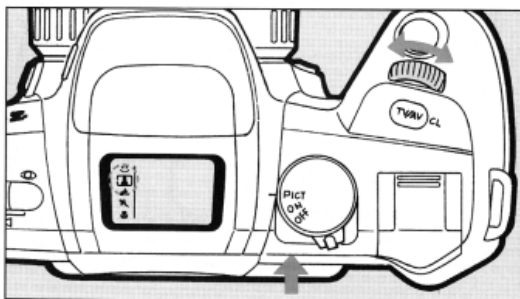
左へ



右へ

39

人物モード

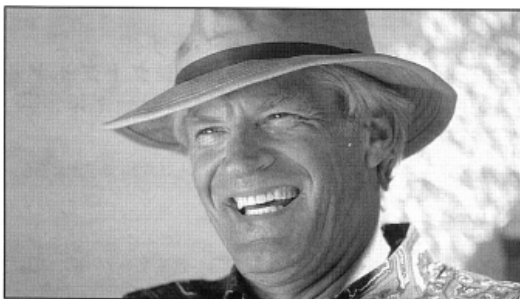


人物撮影をするときにこのモードを使うと便利です。

設定方法

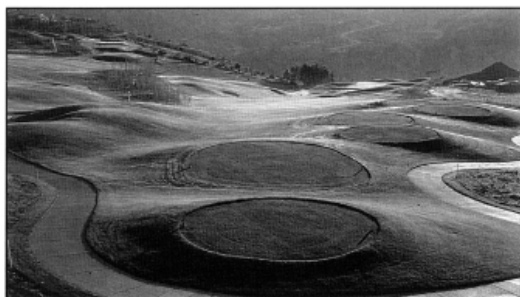
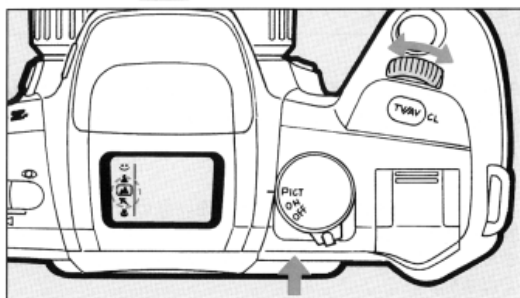
モードボタンを押しながら、セレクトダイヤルを回して、表示パネルの  に  を合わせます。

このモードで人物撮影をすると、望遠系のレンズではバックの風景をぼかして人物を浮きたたせることができます。一方、広角系のレンズでは、集合写真などに便利なように比較的広い範囲にピントが合うようになっていますので、全員にピントの合った写真が撮れますので、記念写真、スナップなどに幅広くご利用いただけます。



40

風景モード



風景撮影をするときにこのモードを使うと便利です。

設定方法

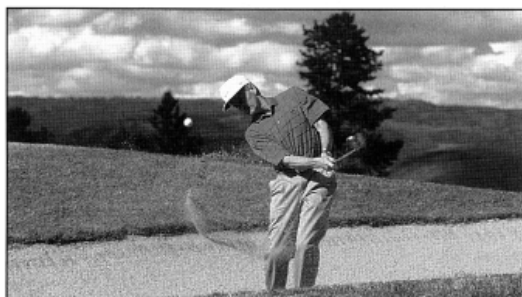
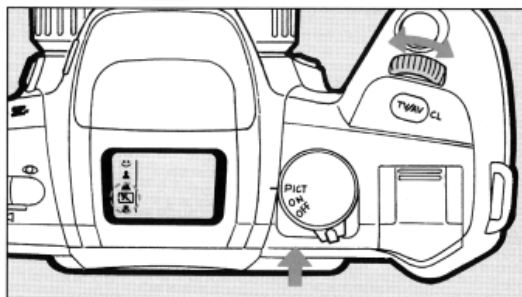
モードボタンを押しながら、セレクトダイヤルを回して、表示パネルの  に  を合わせます。

このモードで風景撮影をすると、近くから遠くまで風景全体にピントの合った写真が撮れます。

基本的な使い方

(41)

動体モード



動きの速い物を写すときに使うと便利です。

設定方法

モードボタンを押しながら、セレクトダイヤルを回して、表示パネルの  に  を合わせます。

このモードで撮影すると、動きの速いものでもぶれずに動きを止めてはっきりとした写真を撮ることができます。また、人物撮影などで背景をぼかしたいときにもご利用ください。

基本的な使い方

(42)